

AEGIS利用規約

第1条(目的)

本利用規約には、アイシングループ（以下、「甲」という。）と取引をする取引先（以下、「乙」という。）との間で情報伝達を行う、様々なWeb アプリケーションを利用するにあたっての当該規約を遵守することをその目的とする。

第2条(定義)

本利用規約において次の用語の意味は、以下の通り定義する。

- (1) 「AEGIS」とは、甲乙間の情報交換をインターネットを使って情報伝達するWeb アプリケーションの総称である。
- (2) 「本ページ」とは、アドレスが<https://www21.aisin-aw.co.jp/>で表示される画面から経由し表示する全ての画面である。
- (3) 「データ正規化」とは、AEGIS で情報伝達されたデジタルデータが、書面で出された情報と同等の効力があることである。
- (4) 「ID」とは甲が別途乙に通知する、乙による本サイトアクセス時に甲が乙によるアクセスであることを確認するための特定の文字列をいう。

第3条(本規約の範囲)

本規約は、AEGIS を経由して利用する全てのアプリケーションに適用される。また、本規約とは別に各アプリケーション毎の個別規約が存在する場合、かかる個別規約は本規約の不可欠の一部を構成し、それらすべてを含めたものが利用規約となる。

第4条(甲所有の知的財産権の使用)

乙は、本ページより得たコンピュータープログラムやデザインなどの甲所有の著作権等を甲に無断で複製してはならない。また、乙は、本ページをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルし、または本ページに記録された著作権表示を、甲に無断で削除または改変してはならない。

第5条(データ正規化)

AEGIS により甲乙間で情報伝達した図面・注文書などのすべてのデジタルデータに対し甲及び乙は、連帯してその責任を負う。但し、デジタルデータと書面の両方が存在し、その内容に相違がある場合は、書面の情報を正規データとする。なお、この場合、書面によりAEGIS によるデジタルデータは誤りであることを明記する。

第6条（通知義務）

乙は、文字化け等により本ページ上のデータの内容を確認できなかった場合、または本ページに掲示されたデータが甲の入力値と異なると推測される場合は、速やかにその旨を甲に通知し、甲の指示を受けるものとする。

第7条（ID の管理）

乙は、自己のID を第三者に提供、または使用させてはならない。

乙は、自己のID の不正使用があったことを発見した場合、ただちにその旨を甲に通知するものとする。

乙は、異動・休職・退職等によりID を使用する権限を失った場合、又はIDが不要となった場合、甲に「ID 削除申請」を提出し、当該ID を速やかに削除または無効とする。

第8条（秘密の保持）

乙は、本ページを第三者に提供、または使用させてはならない。また、乙は、本ページに関連して知り得た甲の技術上、営業上その他の秘密情報をAEGIS の利用期間中のみならずその終了後も第三者に漏洩してはならない。

第9条（利用の解除）

乙は、自己都合によりAEGIS の利用を解除する場合は、甲の了承を得た上で解除することができる。その場合、乙は甲に対して「ID 削除申請」を提出する。乙が本利用規約のいずれかの条項に違反したときまたは不正行為があった場合、甲は、何らの催告を行うことなく直ちにAEGIS の利用を解除し、かつ、甲が被った損害の賠償を請求できるものとする。

第10条（利用の開始）

乙は、取引開始時、本利用規約の全条項を承諾した上で、「AEGIS 新規利用申請書」を甲に提出し、甲より「AEGIS 利用回答書」を受領した上でAEGIS の利用を開始できる。

附則：本規約は、2020年4月28日から実施します。